

Micr-o-protect Biocide Mix

版番号 1.2

改訂日 2016/06/01

発行日 2016/06/01

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : Micr-o-protect Biocide Mix

製品番号 : 11587056103

供給者情報

供給者の会社名称 : ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社

住所 : 東京都港区芝2-6-1
1050014

電話番号 : 03-5443-5128

FAX番号 : 03-5443-5299

電子メールアドレス :

緊急連絡電話番号:

緊急連絡先 : カスタマーサポートセン
ター
0120-600-152**推奨用途及び使用上の制限**

使用上の制限 : 専門ユーザー向け

担当部署 : 生産・物流・信頼性保証・薬事部門
クオリティーマネジメント部**2. 危険有害性の要約****GHS分類**引火性液体 : 区分2
皮膚腐食性 : 区分1B
眼に対する重篤な損傷 : 区分1
呼吸器感作性 : 区分1
皮膚感作性 : 区分1
生殖細胞変異原性 : 区分1B
生殖毒性 : 区分1A
特定標的臓器毒性, 単回ばく露 : 区分3 (気道刺激性, 麻酔作用)
特定標的臓器毒性, 反復ばく露 : 区分1 (肝臓)
特定標的臓器毒性, 反復ばく露 : 区分2 (中枢神経系)
水生環境有害性 (急性有害性) : 区分2

Micr-o-protect Biocide Mix

版番号 1.2

改訂日 2016/06/01

発行日 2016/06/01

水生環境有害性（長期間有害性） : 区分2

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 :

- H225 引火性の高い液体及び蒸気。
- H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
- H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
- H334 吸入するとアレルギー、ぜん（喘）息又は呼吸困難を起こすおそれ
- H335 呼吸器への刺激のおそれ
- H336 眠気又はめまいのおそれ。
- H340 遺伝性疾患のおそれ。
- H360 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
- H372 長期にわたる、または反復暴露による臓器（肝臓、中枢神経系）の障害。
- H411 長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き :

安全対策:

- P201 使用前に取扱説明書を入手すること。
- P202 全ての安全注意を読み理解 するまで取り扱わないこと。
- P210 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。ー禁煙。
- P233 容器を密閉しておくこと。
- P240 容器を接地すること/アースをとること。
- P241 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/機器を使用すること。
- P242 火花を発生させない工具を使用すること。
- P243 静電気放電に対する予防措置を講ずること。
- P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- P264 取り扱い後は皮膚をよく洗うこと。
- P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- P271 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
- P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- P273 環境への放出を避けること。
- P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- P284 (換気が不十分な場合)呼吸用保護具を着用すること。

応急措置:

- P301 + P330 + P331 飲み込んだ場合 : 口をすすぐ こと。無理に吐かせないこと。

Micr-o-protect Biocide Mix

版番号 1.2

改訂日 2016/06/01

発行日 2016/06/01

- P303 + P361 + P353 皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
- P304 + P340 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- P305 + P351 + P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- P308 + P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。
- P310 直ちに医師に連絡すること。
- P333 + P313 皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。
- P362 + P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
- P363 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
- P370 + P378 火災の場合：消火するために乾燥砂，粉末消火剤（ドライケミカル）または耐アルコール性フォームを使用すること。
- P391 漏出物を回収すること。
- 保管:**
- P403 + P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
- P403 + P235 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
- P405 施錠して保管すること。
- 廃棄:**
- P501 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

GHS分類に該当しない他の危険有害性

知見なし。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

危険有害成分

化学名	CAS番号	濃度又は濃度範囲 [%]	官報公示整理番号
エタノール	64-17-5	>= 70 - < 80	2-202

Micr-o-protect Biocide Mix

版番号 1.2

改訂日 2016/06/01

発行日 2016/06/01

2-メチルイソチアゾール-3(2H)-オン・塩酸塩	26172-54-3	>= 1 - < 10	
5-ブロモ-5-ニトロ-1,3-ジオキサン	30007-47-7	>= 1 - < 10	

4. 応急措置

- 一般的アドバイス : 危険域から避難させる。
医師に相談する。
この安全データシートを担当医に見せる。
被災者を一人にしない。
- 吸入した場合 : 直ちに医師または日本中毒情報センターに連絡する。
新鮮な空気のある場所に移動する。
意識がない場合は、回復体勢にし、医師の指示を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 皮膚腐食による傷口を直ちに処置しないと、治癒が遅く傷が残るので、直ちに医療処置が必要。
皮膚に付いた場合水で十分にすすぐ。
衣服に付いた場合、衣服を脱ぐ。
- 眼に入った場合 : 少量が目にはねて入った場合、取り返しの付かない組織破壊と失明を引き起こす可能性がある。
眼に入った場合は、直ちに多量の水で洗浄し、医師の手当てを受ける。
病院に運ぶ途中、眼を洗浄し続けます。
コンタクトレンズをはずす。
損傷していない眼を保護する。
洗浄中は眼を大きく開ける。
眼刺激が治まらない場合は、専門医に相談する。
- 飲み込んだ場合 : 口を水で洗浄し、その後多量の水を飲む。
気道を確保する。
無理に吐かせないこと。
ミルクやアルコール飲料を与えない。
意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。
症状が持続する場合は、医師に連絡する。
直ちに被災者を病院に連れて行く。
- 医師に対する特別な注意事項 : 救急医療手順は、産業医療に責任のある医師に相談して設定すべきである。

5. 火災時の措置

Micr-o-protect Biocide Mix

版番号 1.2

改訂日 2016/06/01

発行日 2016/06/01

- 消火剤 : 耐アルコール泡消火剤
二酸化炭素 (CO2)
粉末消火剤
- 使ってはならない消火剤 : 大型棒状の水
- 特有の危険有害性 : 火災時には消火用水が排水溝ないし水路へ流出しないよう防止すること。
- 特有の消火方法 : 汚染した消火廃水は回収すること。排水施設に流してはならない。
火災の残留物や汚染した消火廃水は、関係法規に従って処理する。
火災時の安全上の理由から、缶をそれぞれ別々に保管する密閉容器を水スプレーで完全に冷却する。
- 消火を行う者の保護 : 消火活動時には必要に応じて 自給式呼吸装置を装着する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 保護具を使用する。
十分な換気を確保する。
付近の発火源となるものを取り除く。
安全な場所に避難する。
項目7および8に記載した保護措置を参照する。
蒸気がたまると爆発性濃縮物が生成されるので要注意。蒸気は低いところにたまる可能性あり。
- 環境に対する注意事項 : 製品を排水施設に流してはならない。
安全を確認してから、もれやこぼれを止める。
製品が河川、湖水または排水管を汚染した場合は、関連当局に連絡する。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 漏出物を閉じ込め、不燃性の吸収剤（砂、土、珪藻土、パーミキュライト等）を使用して集め、地域/国家の規則に従い廃棄するために容器に入れる（項目13を参照）。

7. 取扱い及び保管上の注意**取扱い**

- 安全取扱注意事項 : エアゾールの発生を避けること。
蒸気/粉塵を吸い込まない。

Micr-o-protect Biocide Mix

版番号 1.2

改訂日 2016/06/01

発行日 2016/06/01

曝露を避ける一使用前に特別指示を受ける。
 皮膚や眼への接触を避けること。
 個人保護については項目 8 を参照する。
 作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。
 静電気放電に対して予防処置手段をとること。
 作業室の換気や排気を十分に行う。
 容器は、排気換気フードの下でのみ開ける。
 内部が陽圧になっていることがあるので、ふたを開ける場合には、慎重に行う。
 洗浄水は、国及び地方自治体の規制に従い処分する。
 皮膚感作性並びに喘息、アレルギー、慢性または反復性の呼吸器疾病を有する人は、この製剤を使用するすべての工程に従事しないことが望ましい。
 リークまたはこぼれた物質の拡散を防ぐため、適切な液体保持のシステムを用意する。

接触回避 : データなし

衛生対策 : 使用中は飲食しないこと。
 使用中は禁煙。
 休憩前や終業時には手を洗う。

保管

安全な保管条件 : 禁煙。
 容器を密閉し、乾燥した換気の良い場所に保管する。
 一度開けた容器は注意深く再度密封し、漏れを避けるためまっすぐ立てておく。
 ラベルの予防措置を遵守する。
 電気設備及び作業資材は技術安全基準に準拠していなければならない。

混触禁止物質 :

8. ばく露防止及び保護措置

成分別作業環境管理濃度/許容濃度

成分	CAS番号	指標 (暴露形態)	管理濃度 / 許容濃度	基準
ethanol	64-17-5	TWA	1,000 ppm	ACGIH
		TWA	1,000 ppm 1,900 mg/m ³	NIOSH REL
		TWA	1,000 ppm 1,900 mg/m ³	OSHA Z-1
		TWA	1,000 ppm 1,900 mg/m ³	OSHA P0

Micr-o-protect Biocide Mix

版番号 1.2

改訂日 2016/06/01

発行日 2016/06/01

保護具

呼吸用保護具 : 蒸気を形成する場合は、適合したフィルターの付いた呼吸装置を使用する。

手の保護具
品名

: 保護手袋

備考

: 選ばれた防護手袋は、EU指令89/686/EEGの仕様と、それから派生する規格EN374を満たすものでなければならない。この推薦は、安全データシートで言及されていて、当社が指定した適用法のために、当社が供給した製品にのみ有効。手袋の供給業者が提供する透過性および破過時間に関する指示に従う。また、切り傷、擦り傷、接触時間など、製品が使われる特定の環境条件も考慮する。ある特定の作業場の適正度は、防護手袋製造者との相談で決定すべきである。

眼の保護具

: 純水入りの眼洗浄ボトル
密着性の高い安全ゴーグル
プロセス中に異常が起きた場合は、顔面シールドと保護服を着用する。

皮膚及び身体の保護具

: 不浸透性衣服
作業場にある危険物質の量および濃度に応じて、保護具を選択する。

9. 物理的及び化学的性質

外観 : 液体
色 : 薄い黄色
臭い : アルコール臭
pH : 5.5
融点・凝固点 : データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲 : データなし
引火点 : 17 ° C

爆発範囲の上限 : データなし
爆発範囲の下限 : データなし
蒸気圧 : 57 hPa (20 ° C)

比重 : 約 0.95 g/cm³ (20 ° C)

Micr-o-protect Biocide Mix

版番号 1.2

改訂日 2016/06/01

発行日 2016/06/01

溶解度

- 水溶性 : 相溶
- 自然発火温度 : 425 ° C
- 分解温度 : 加熱すると危険なガスが発生することがある。
- 酸化特性 : この物質または混合物は、酸化性には分類されない。

10. 安定性及び反応性

- 反応性 : 一般的な使用条件下では、危険な反応は知られていない。
- 化学的安定性 : 通常の状態では安定。
- 危険有害反応可能性 : 熱や発火源から遠ざける。
蒸気は空気と爆発性混合物を形成することがある。
指示通り保管/適用すれば分解しない。
- 避けるべき条件 : 熱、炎、火花。
- 混触危険物質 : データなし
- 危険有害な分解生成物 : 火災時に危険有害分解物質を発生する。

11. 有害性情報**急性毒性****製品:**

- 急性経口毒性 : 急性毒性の推定 : > 2,000 mg/kg
方法: 計算による方法
- 急性経皮毒性 : 急性毒性の推定 : > 2,000 mg/kg
方法: 計算による方法

成分:

- エタノール:**
急性経口毒性 : LD50 ラット: 7,000 mg/kg

Micr-o-protect Biocide Mix

版番号 1.2

改訂日 2016/06/01

発行日 2016/06/01

LD50 マウス: 3,450 mg/kg

急性吸入毒性 : LC50 ラット: 20000 ppm
曝露時間: 10 h

LC50 マウス: 39 g/m³
曝露時間: 4 h

5-ブロモ-5-ニトロ-1,3-ジオキサン:

急性経口毒性 : LD50 経口 ラット: 455 mg/kg

LD50 経口 マウス: 590 mg/kg

急性経皮毒性 : 急性毒性の推定: 1,100 mg/kg
方法: 専門家の判断

皮膚腐食性及び皮膚刺激性**製品:**

備考: 組織に極度の腐食性があり、破壊的である。

成分:**エタノール:**

備考: この情報は入手できない。

5-ブロモ-5-ニトロ-1,3-ジオキサン:

結果: 火傷を起します。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性**製品:**

備考: 眼に永久的な損傷が起こることがある。

成分:**エタノール:**

備考: この情報は入手できない。

呼吸器感作性又は皮膚感作性**製品:**

備考: 感作を起こす。

生殖細胞変異原性

Micr-o-protect Biocide Mix

版番号 1.2

改訂日 2016/06/01

発行日 2016/06/01

データなし

発がん性

データなし

生殖毒性

データなし

エタノール:

2-メチルイソチアゾール-3(2H)-オン・塩酸塩:

5-ブromo-5-ニトロ-1,3-ジオキサン:

特定標的臓器毒性, 単回ばく露成分:

エタノール:

アセスメント: この物質または混合物は、特定標的臓器毒、単回暴露に分類されない。

特定標的臓器毒性, 反復ばく露成分:

エタノール:

アセスメント: この物質または混合物は、特定標的臓器毒、反復暴露に分類されない。

吸引性呼吸器有害性成分:

エタノール:

データなし

詳細情報製品:

備考: 溶剤は皮膚を脱脂することがある。

12. 環境影響情報**生態毒性**製品:

環境毒性アセスメント

土壌の毒性データ : 土壌に吸着するとは考えられていない。

環境に関係する他の生物 : データなし

Micr-o-protect Biocide Mix

版番号 1.2

改訂日 2016/06/01

発行日 2016/06/01

成分:**エタノール:**

魚毒性 : LC50 (ゴールデンオーフ): 8,000 mg/l
曝露時間: 48 h
LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): 7,100 mg/l
方法: OECD 試験ガイドライン 203

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 5,400 mg/l
に対する毒性 曝露時間: 48 h

藻類に対する毒性 : EC0 (Scenedesmus quadricauda): 5,000 mg/l
曝露時間: 7 d

バクテリアに対する毒性 : EC0 (Pseudomonas putida): 6,500 mg/l
曝露時間: 16 h

環境毒性アセスメント

土壌の毒性データ : 土壌に吸着するとは考えられていない。

環境に関係する他の生物 : データなし

2-メチルイソチアゾール-3(2H)-オン・塩酸塩:**環境毒性アセスメント**

水生環境有害性 (急性有害性) : この製品には、知られている範囲で生態毒生学上の影響はない。

水生環境有害性 (長期間有害性) : この製品には、知られている範囲で生態毒生学上の影響はない。

5-プロモ-5-ニトロ-1,3-ジオキサン:**環境毒性アセスメント**

水生環境有害性 (急性有害性) : 水生生物に非常に強い毒性

水生環境有害性 (長期間有害性) : 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

土壌の毒性データ : 土壌に吸着するとは考えられていない。

環境に関係する他の生物 : データなし

残留性・分解性

データなし

生体蓄積性

データなし

土壌中の移動性

Micr-o-protect Biocide Mix

版番号 1.2

改訂日 2016/06/01

発行日 2016/06/01

データなし

他の有害影響

データなし

製品:

生態系に関する追加情報 : 職業上の規則に反した取り扱い、処理が行われた場合は、環境に及ぼす危険性を除外して考えることはできない。、長期継続的影響によって水生生物に毒性

オゾン層への有害性

非該当

13. 廃棄上の注意**廃棄方法**

残余廃棄物 : 本製品を排水溝、水路、地面に流さないこと。
薬剤または使用済み容器で池、水路、溝を汚染しないこと。
認可された廃棄物処理業者へ委託する。

汚染容器及び包装 : 残りの容器を空にする
未使用製品と同様に処分する。
空の容器を再使用しない。
空のドラムを燃やしたり、切断トーチを使用しないこと

14. 輸送上の注意**国際規制****IATA**

国連番号 : 1170
国連番号 : エタノール
国連分類 : 3
容器等級 : II
ラベル : 3
梱包指示 (貨物機) : 364
梱包指示 (旅客機) : 364
パッキングの指示 (LQ) : Y341
環境有害性 : 非該当

IMDG

国連番号 : 1170
国連輸送名 : エタノール
国連分類 : 3

Micr-o-protect Biocide Mix

版番号 1.2

改訂日 2016/06/01

発行日 2016/06/01

容器等級 : II
 ラベル : 3
 F-EmS : F-E
 S-EmS : S-D

海洋汚染物質(該当・非該当) : 非該当

MARPOL 73/78 の付属文書 II および IBC Code に準拠するバルク輸送

特別の安全対策

データなし

国内法規制

特定の国の規則は項目 15 を参照する。

15. 適用法令

関連法規

消防法

第四類, 第1石油類, 水溶性液体, (400 リットル)

化審法

特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質は該当しない。

労働安全衛生法

製造等が禁止される有害物

非該当

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

がん原性物質

非該当

変異原性の認められた化学物質

非該当

変異原性が認められた化学物質の取扱いについて - 別紙 1: 変異原性が認められた届出物質に関する情報一覧

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物

法第57条の2 (施行令別表第9)

化学名	番号	濃度又は濃度範囲 (%)
エタノール	61	>=70 - <80

名称等を表示すべき危険物及び有害物

法第57条 (施行令第18条)

Micr-o-protect Biocide Mix

版番号 1.2

改訂日 2016/06/01

発行日 2016/06/01

化学名	番号
エタノール	61

特定化学物質障害予防規則

非該当

鉛中毒予防規則

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

非該当

労働安全衛生法施行令 - 別表第一 (危険物)

引火性の物

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

高圧ガス保安法

非該当

火薬類取締法

非該当

船舶安全法

危規則第2, 3条危険物告示別表第1: 引火性液体類

航空法

施行規則第194条危険物告示別表第1: 引火性液体

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

海洋汚染物質に該当しない

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

特別管理産業廃棄物

16. その他の情報

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等を、安全に行っていただくために作成されたものです。

Micr-o-protect Biocide Mix

版番号 1.2

改訂日 2016/06/01

発行日 2016/06/01

記載されている情報はいかなる保証もするものではありませんし、品質を特定するものでもありません。また、このMSDSのデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料との組み合わせ使用に関しては有効ではありません。